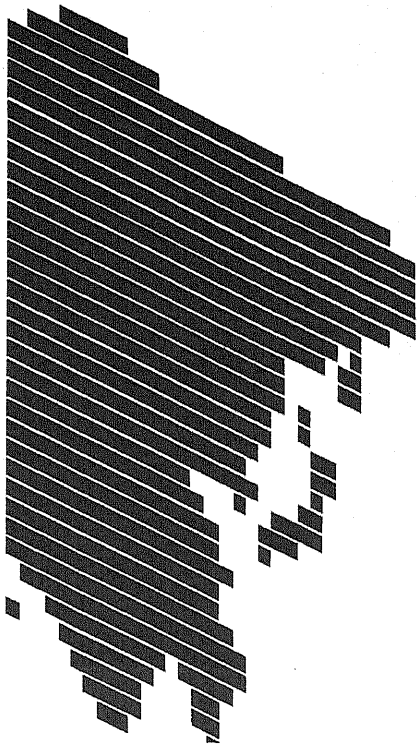
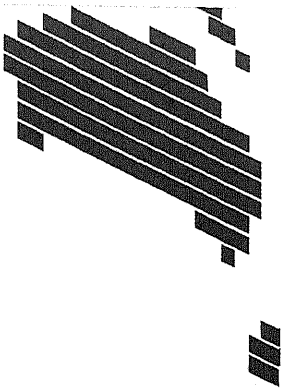
国際協力事業団年報 1989



JICA LIBRARY
J 1162863 [3]



国際協力事業団
Japan International Cooperation Agency

国際協力事業団年報

1989

国際協力事業団

国際協力事業団年報1989

第１章　国際協力事業団とその事業
　　第１節　国際協力事業団の沿革
　　第２節　事業の概要
　　第３節　わが国の政府開発援助（ODA）
　　第４節　当面の重要課題
第２章　昭和63年度事業の概要
　　第１節　昭和63年度事業方針
　　第２節　形態別の事業概要
　　第３節　地域別の事業概要
　　第４節　主要開発途上国の国別事業概要
第３章　事業団の組織及び予算
　　第１節　組織
　　第２節　予算と定員

国際協力事業団年報1989（資料編）

第１部　案件別事業概要
第２部　集団研修コース概要
第３部　事業統計

1162863【3】

序

国際協力事業団（JICA）が設立されてから今年で15年目を迎えました。

昭和29年（1954年）に始まったわが国の政府開発援助（ODA）の歩みのなかでも，とりわけこの15年間の発展は大きいものがあります。ODA 予算は15年前の約５倍に増え，援助額においては米国に比肩するまでに成長いたしました。このなかで，技術協力及び無償資金協力を中心に ODA 事業の一翼を担う JICA についても，予算規模において設立時の10倍にまで拡大し，その実施体制も「手作りの援助」から，手作りの良さは残しつつも「組織的な援助」へと，大きく変貌を遂げてきております。

昨年10月に総理府が実施した世論調査では，約８割の人が ODA の現状維持あるいは一層の拡大を望んでいるという結果が明らかになりましたが，このことからも，ODA は国民のコンセンサスのもとに拡充が図られてきていると言えます。

しかしながら，わが国の ODA 事業はいまだ多くの課題を残しております。

ODA 総額の対 GNP 比率や贈与比率は，先進18カ国のなかで依然として低い位置に留まっており，一層の拡充が望まれております。同時に，相手国の実情を十分踏まえた協力計画の策定，そして評価，フォローアップの充実，技術協力と無償資金協力の連携の強化，環境対策など，一層協力効果をあげるための質の向上，改善が強く求められております。

近年，ODA に対する内外の関心がとみに高まってきているなか，私ども JICA としても，実施体制を強化し，その責務を果たすべく努力を重ねてまいる所存でありますが，さらに課せられた諸課題に一層効果的に対応するためには，協力事業を支える国内基盤の拡大及び国民的支持と参加による事業の展開が何よりも大切であると痛感しております。今後とも「開かれた JICA」をモットーにこれらの実現に向けて努力してまいりたいと思います。

ここに，昭和63年度の JICA の事業実績を中心とした「国際協力事業団年報」を刊行いたしますが，この年報では JICA としてはじめて国別，地域別に事業実績を紹介しております。ご一読いただき，JICA の事業，わが国の ODA について，国民の皆様の一層のご理解が得られれば幸甚です。

平成元年10月

国際協力事業団
総裁 柳谷謙介

目　　次

■第１章　国際協力事業団とその事業
第１節　国際協力事業団の沿革 …… 1
第２節　事業の概要 …… 2
第１　技術協力事業 …… 2
第２　人材の養成・確保事業 …… 2
第３　無償資金協力事業 …… 2
第４　開発協力事業 …… 2
第５　青年海外協力隊事業 …… 2
第６　海外移住事業 …… 3
第７　国際緊急援助事業 …… 3
第３節　わが国の政府開発援助（ODA） …… 6
第１　わが国のODAをめぐる最近の情勢 …… 6
第２　わが国のODAの特徴と最近の主な施策 …… 7
第４節　当面の重要課題 …… 9
第１　援助事業の量的拡大・多様化への対応 …… 9
第２　援助事業の総合的推進 …… 9
第３　プロジェクト・サイクルの確立 …… 10
第４　情報公開と広報活動の強化 …… 11

■第２章　昭和63年度事業の概要
第１節　昭和63年度事業方針 …… 13
第１　「ODA第４次中期目標」に対する対応 …… 13
第２　「行政監察結果に基づく勧告」に対する対応 …… 13
第３　業務実施体制の充実と強化 …… 14
第２節　形態別の事業概要 …… 15
第１　技術協力事業 …… 15
１．研修員受入事業 …… 15
２．青年招へい事業 …… 22
３．専門家派遣事業 …… 23
４．機材供与事業 …… 25
５．プロジェクト方式技術協力事業 …… 30
Ⅰ．技術協力センター事業 …… 34
Ⅱ．保健医療協力事業 …… 36
Ⅲ．人口・家族計画協力事業 …… 39
Ⅳ．農林水産業協力事業 …… 40

Ⅴ．産業開発協力事業 …… 42
6．開発調査事業 …… 44
第2　人材の養成・確保，調査研究及び専門家の福利厚生事業 …… 53
第3　無償資金協力事業 …… 60
第4　開発協力事業 …… 71
第5　青年海外協力隊事業 …… 77
第6　海外移住事業 …… 84
第7　国際緊急援助事業 …… 89
第8　援助効率促進事業 …… 96
第9　その他の事業 …… 99
第3節　地域別の事業概要 …… 103
第1　アジア地域 …… 103
第2　中近東地域 …… 105
第3　アフリカ地域 …… 107
第4　中南米地域 …… 109
第5　オセアニア地域 …… 111
第6　ヨーロッパ地域 …… 112
第4節　主要開発途上国の国別事業概要 …… 113
第1　アジア地域［Ⅰ］ …… 113
1．中国 …… 114
2．インドネシア …… 115
3．マレイシア …… 117
4．フィリピン …… 118
5．シンガポール …… 119
6．タイ …… 120
第2　アジア地域［Ⅱ］ …… 122
1．バングラデシュ …… 122
2．インド …… 123
3．ネパール …… 125
4．パキスタン …… 126
5．スリ・ランカ …… 127
第3　中近東地域 …… 129
1．エジプト …… 130
第4　アフリカ地域 …… 132
1．ケニア …… 133
2．セネガル …… 135
3．タンザニア …… 136
4．ザンビア …… 137
第5　中南米地域 …… 139
1．アルゼンティン …… 140

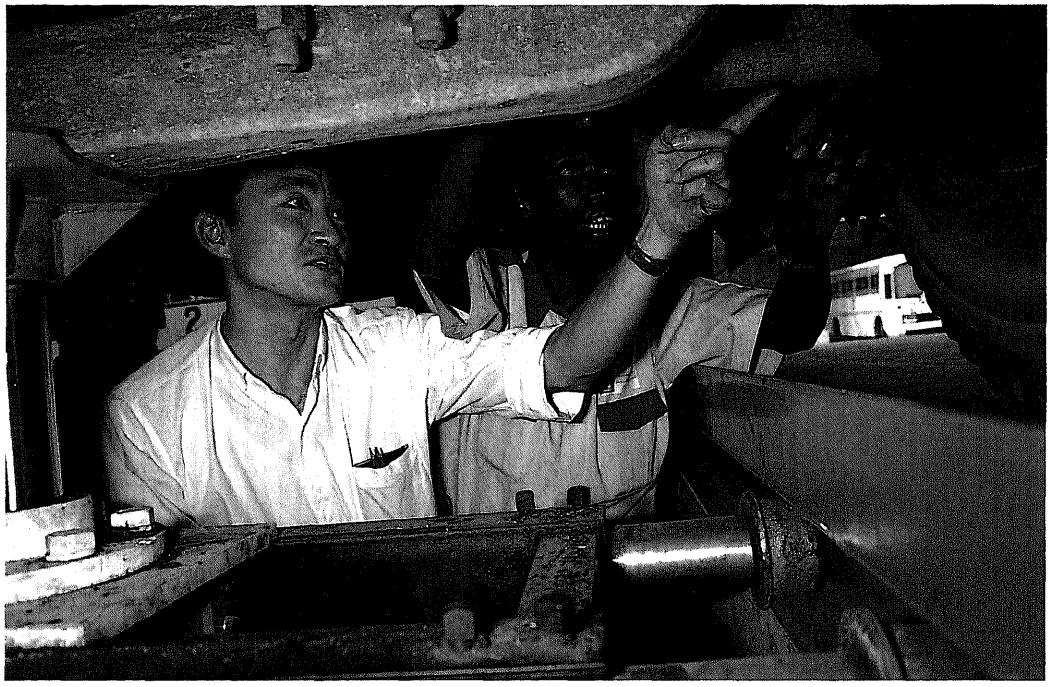
2．ボリヴィア…… 141
3．ブラジル…… 142
4．メキシコ…… 144
5．パラグァイ…… 145
6．ペルー…… 146
第6　オセアニア地域…… 148
第7　ヨーロッパ地域…… 151

■第3章　事業団の組織及び予算

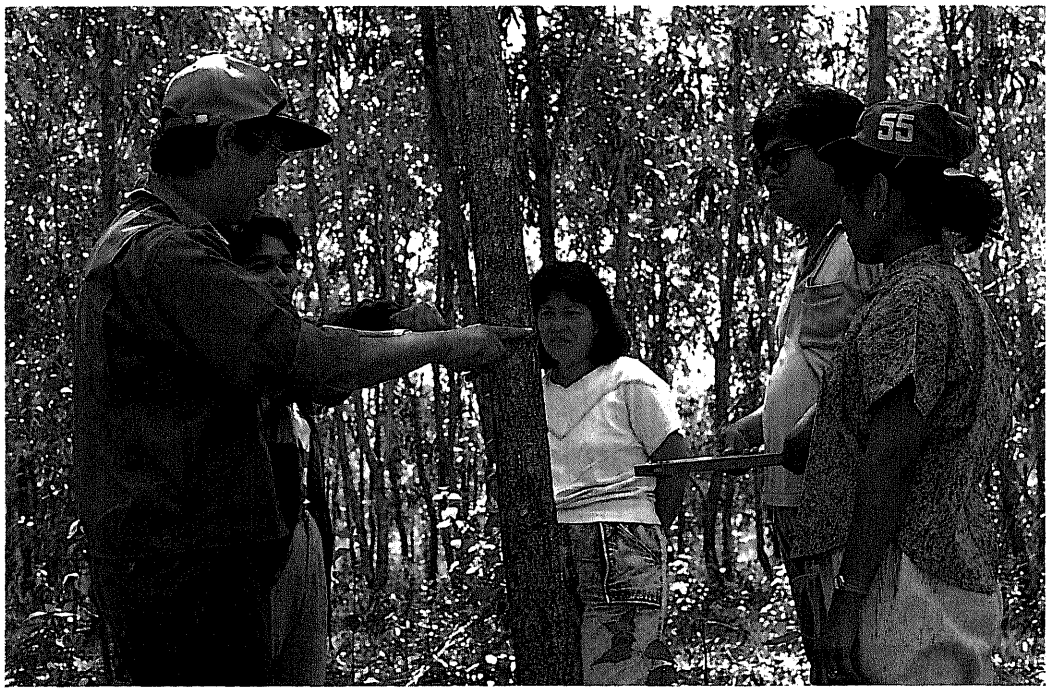
第1節　組織…… 153
第1　機構…… 153
第2　定員…… 153
第2節　予算と定員…… 156
第1　予算…… 156
第2　予算及び定員の推移…… 156

教育テレビジョンコース(国内・研修員受入)

アセアン混成グループ歓送会(国内・青年招へい)



自動車整備の指導(ブルンディ・専門家派遣)



パンタバンガン林業開発計画(フィリピン・プロジェクト方式技術協力)